

第84回都市対抗野球大会

東京ガス										2013/7/20 準々決勝 東京ドーム										JX-ENEOS									
		打	安	点	振	球											打	安	点	振	球								
9	建部	4	2	1	0	0	東京ガス	0	0	0	3	0	0	0	0	0	JX-ENEOS	0	0	0	0	0	0	0	4	×			
7	濱(政)田	2	0	0	1	1	投手	高山、井口、白井、山崎、吉原		尾田、大城		計					投手	尾田、大城		日高、柏木		計							
D	道廣	3	0	0	1	0	捕手	山内		山田							捕手			山田									
H	植山	1	0	0	0	0	本塁打										本塁打												
3	黒田	4	0	0	3	0	三塁打										三塁打												
8	坂井	4	2	0	1	0	二塁打	建部 2		山田							二塁打												
5	鮫島	2	0	0	0	0																							
H	松田	1	0	0	1	0																							
2	山内	3	1	1	1	0																							
R	地引	0	0	0	0	0																							
6	遠藤	2	1	0	0	1																							
H	佐々木	1	0	0	1	0																							
4	藤井	2	1	1	0	0																							
	計	29	7	3	9	2	【特記事項】																						

準々決勝の相手は昨年の覇者 JX-ENEOS。TGは32年ぶりのベスト4を狙う。先発は鷺宮製作所からの補強選手高山。高山は絶妙なコントロールと緩急をつけた投球で強打のENEOS打線を封じ込む。すると四回表TGの攻撃、先頭の坂井がヒットで出塁すると続く鮫島の送りバントが相手の失策を誘い、0死一、三塁となる。ここでバッターはキャプテンの山内。山内に出たサインはスクイズ。外し気味のボールだったが、きっちり転がし、先取点を上げる。続く遠藤も三遊間を抜くレフト前ヒット放ち、一死一、三塁。バッターは藤井。藤井はきっちり犠飛を放ち、2-0とする。さらには建部のライトオーバーの二塁打でこの回一挙に3点。先発の高山は七回二死一、二塁の場面でマウンドを降り、二番手井口へ。井口は緊迫した場面にも動じず、この回を無失点に抑える。八回裏、井口から三番手白井へスイッチ。白井はヒット、四球、ヒットで1点を失うと、4番手山崎へ交代するが、その山崎も連打を食らい、3-4と逆転される。最終回、二死から山内が粘ってセンター前ヒットを放つが、代打佐々木が倒れ、悔しい敗退となった。